

事務事業	5012	普通財産管理事務	担当課	経営企画課	担当係	施設管理係
------	------	----------	-----	-------	-----	-------

計画 画期 体計 系画	施策	19	将来にわたって持続可能なまちをつくる	予 算 科 目	会計	1	一般会計
	取り組み方針	540	公共施設等の効率的・効果的な管理運営を行う		款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	5	財産管理費

法令根拠条例等	地方自治法	個別計画
---------	-------	------

実施期間	<input type="checkbox"/> 29年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	12	年度より開始	<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)	年度～	年度
------	---------------------------------	---	----	--------	------------------------------------	-----	----

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 町所有の普通財産の管理を行う。		<input type="checkbox"/>	2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)
		主 な 事 業 費 の 内 訳	草刈委託料
			592 千円
			測量登記委託料
			240 千円
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 土地財産の草刈(委託)、財産を示す看板設置、土地財産の貸付事務、財産処分検討委員会事務、売払い事務処理、台帳管理等			普通財産維持管理工事
			213 千円
			樹木伐採委託料
			77 千円
			千円

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

事務 事業 の 目 的	① 手段(主な活動) 29年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) ・土地財産の草刈・樹木伐採 ・土地財産を囲っている柵の補修工事
	② 対象(誰、何を対象にしているのか) 町有財産(普通財産)
	③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか) 適正に維持される。

④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		指標数値		
名称	単位	28年度	29年度	30年度
ア 土地維持管理経費額	千円	609	1,120	905 (見込)
イ 草刈件数	件	12	11	10 (見込)
ウ				(見込)
⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)		指標数値		
名称	単位	28年度	29年度	30年度
ア 普通財産面積	m ²	109,834	109,726	109,726 (見込)
イ				(見込)
ウ				(見込)
⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		指標数値		
名称	単位	28年度	29年度	30年度
ア 苦情発生件数	件	目標	0	0
		実績	5	2
イ		目標		
		実績		
ウ		目標		
		実績		
エ		目標		
		実績		
オ		目標		
		実績		

(2) 総事業費の推移

事 業 費	財源内訳(千円)		28年度 (決算値)	29年度 (当初予算)	29年度 (決算値)	30年度 (当初予算)	31年度 (計画)	32年度 (計画)	
	経 費	国・県支出金、地方債等							
		受益者負担等							
		一般財源	609	1,059	1,120	905			
		合計(A)	609	1,059	1,120	905	0	0	
		(内臨時・嘱託職員人件費)							
	正職員人件費[按分](B)	1,952	2,188	2,525	5,174				
トータルコスト(A)+(B)	2,561	3,247	3,645	6,079	0	0			

事務事業評価表(事業実施年度:平成29年度)

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
地方自治法施行以来。	特になし。	特になし。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		29年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成29年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	防草シート施工に限らず、コスト削減の方策を検討していきたい。	<input type="checkbox"/> 記述どおり実施できた(コメント必要ありません) <input checked="" type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	コスト削減の方策の一つとして、平成29年度策定の「志免町公有財産活用基本方針」に基づき、今後利用が見込まれない財産の処分することにより維持管理費の削減に努めていくこととした。

2 評価(SEE)及び全体総括の部*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価

	評価の理由
目的妥当性評価 ① 上位施策への貢献度は大きいですか?※総合計画を参照してください <input type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→) ② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	町有財産(普通財産)の適正管理により、町の財産が保護される。 町有財産の管理は、当然町が行うべきことである。
有効性評価 ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→) ④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	大きく成果を向上する余地はないが、定期的に普通財産の現状確認をすることにより、近隣住民の方などからの苦情発生を減らすことが可能である。 町有財産が荒廃するとともに、放棄することにもつながる。
効率性評価 ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input checked="" type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input type="checkbox"/> ない(理由→)	今後利用が見込まれない普通財産を処分することにより、維持管理費の削減が可能である。

(2) 29年度を振り返って(全体総括・反省点)

- ・草刈については、草の成長状況を考慮した上で概ね適切な時期に実施できたと考えている。
- ・普通財産近隣住民の方からの苦情・要望等については、緊急に樹木を伐採する等適切に対応できた。
- ・普通財産に設置している柵や看板等が倒れているものがあり、復旧工事を4件施工した。
- ・有効活用可能な普通財産について、今後の売却を見据えて隣接者土地との交換や分筆を行った。

3 今後の方向性(30年度以降の計画と31年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) <input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→ <input type="checkbox"/> 事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	(2) 平成30年度以降に取り組む内容と期待される効果 「志免町公有財産活用基本方針」に基づき、今後利用が見込まれない普通財産の処分を一般競争入札により実施し、維持管理費の削減と自主財源の確保に努めたい。
---	--